

学事報告

2017年度の全学共通教育センターの学事にかんして、開催行事と教員著書の2点について以下に報告します。

【開催行事】

- 2017年11月15日 全学共通教育センターコロキウム (F304教室) 「はざま」にあるキューバ文学—ディアスポラ作家の英語創作を通して」、演者 山辺弦専任講師、「干ばつが続くのはなぜ?—ポリネシア・ツバルの首長のマナを読み解く」、演者 小林誠専任講師
- 2017年12月9日 総合教育演習ゼミ報告会 (A309, A310教室) 12ゼミから17件の発表が行われた。
- 2018年2月1日 「総合教育研究」発表会 (F302教室) 5名が発表を行なった。
- 2017年3月16日 全学共通教育センターFD講演会 (進一層館1Fホール) 「リベラルアーツ教育とその可能性—教養教育再検討の試み—」(国立音楽大学・国際基督教大学・武蔵野美術大学共催)、演者 伊東辰彦氏 (国際基督教大学教授)、久保田慶一氏 (国立音楽大学教授)、岡村秀樹氏 (国際基督教大学教授)、山口裕之氏 (東京外国語大学教授)、新正裕尚氏 (東京経済大学教授)、白石美雪氏 (武蔵野美術大学教授)

【教員著書】

相澤伸依	『暴力をめぐる哲学』	晃洋書房 (分担執筆)
徐京植	『日本リベラル派の頹落』	高文研
徐京植	『抵抗する知性のための19講—私を支えた古典—』	晃洋書房
高井良健一	『「協働の学び」が変えた学校 新座高校 学校改革の10年』	大月書店 (共著)
高津秀之	『記憶と忘却のドイツ宗教改革』	ミネルヴァ書房 (分担執筆)
戸邊秀明	『知っておきたい歴史の新常識』	勉誠出版 (分担執筆)
野田淳子	『事例で学ぶ保育内容 領域・言葉』 (新訂)	萌文書林 (分担執筆)
早尾貴紀 (翻訳)	イラン・バベ 著『パレスチナの民族浄化』	法政大学出版局
早尾貴紀 (翻訳) 本橋哲也 (翻訳)	ハミッド・ダバシ 著『ポスト・オリエンタリズム—テロの時代における知と権力』	作品社 (共訳)
久川伸子	『キャリア形成支援の方法論と実践』	東北大学出版会 (分担執筆)
本橋哲也	『宮城聰の演劇世界 孤独と向き合う力』	青弓社 (共著)

(『人文自然科学論集』編集委員会)